

平成27年度 委員会報告書

委員会： 排泄・スキントラブル委員会

【年間目標】

排泄・スキントラブル委員会の年間目標は、事業計画の「褥瘡ゼロ」と「排泄はトイレで」を達成するためのアプローチをします。具体的な目標は次の通りです。

1. 皮膚トラブルの知識と予防についての取り組み。
2. 排泄をどのように考えるか？
3. 課内研修の開催。

【活動報告】

1. 皮膚トラブルについて
 - ① 白十字社を招いて皮膚トラブル及び、排泄製品の勉強会を開催した。
 - ② 乾燥時期の保湿対応の呼び掛けを行った。
 - ③ 体位変換についての勉強会は、機能訓練指導員によるシーティングとポジショニングを学びました。
2. 排泄について
 - ① 排泄に関するアセスメントシート作成。
 - ② 各ユニットで対象者を決めての失禁分析。
3. 課内研修について
 - ① センナ茶の評価
 - ② プロペト塗布の説明
 - ③ オムツのあて方
 - ④ 排泄アセスメントシート
 - ⑤ 除圧・体位変換のクッションのあて方
4. 前年度からの取り組みについて
 - ① 自然排便促しの為のセンナ茶使用の評価をする。
 - ② 緑茶陰洗の実施継続。

【委員長の総括】

この一年間、排泄・スキントラブル委員会の委員長として、事業計画に基づいて「排泄はトイレで」「褥瘡ゼロ」を目標にして委員会で色々な提案をしていきました。

正直なところ、毎回の委員会では、上手く司会進行ができなく、委員の方に意見を聞く際にもしどろもどろになってしまった。だから、「私なんてあがり症で出来損ない。去年の委員会でも自分の意見や提案は違う事を言っていたと思う。自分は意見を言える立場や発信できる立場ではないから無理」と思っていました。

しかし、他職員から「大丈夫だから。言っていることは間違っていないと思う」や「今回の経験は、今後の人生に絶対にプラスになる」等の言葉で、伝える事に自信がなければ紙に書いて伝えれば良いとの考え方に変わりました。そして、今後の人生に何か今やっていることが生かせればとの思いに気持ちが変わっていききました。

年末になるに連れて、課内研修に向けて委員会内で取り組んできた「センナ茶」「プロペト塗布」「オムツのあて方」「アセスメントシート」「クッションのあて方」をテーマに挙げて準備をしていくと、委員の方から当日の流れや準備はどうするのか？など、質問が出てきました。一人一人の委員の方々が分かるように内容を考え、資料などを作り対応しました。それでも、委員の方からの様々な意見に対してまとめられなくて、言葉に詰まってしまう場面もありました。その度に、主任に相談することや、委員の方々が意見をまとめてくれたお蔭で物事を進めることができました。課内研修での資料は、10ページ以上の内容となり、50部ほどコピーしてホッチキスでまとめていく作業をしていると、この一年間、様々な内容に取り組んでいたのかと思い、委員会の奥深さを感じました。課内研修の当日は、自分が思っていたよりも各自のテーマが分かり易くまとめられ説明していることに、こんな委員長でも委員の方々にやりたい内容が伝わっているのだとの自信に繋がりました。

平成28年度も上手く委員長として委員会を引っ張っていけないと思いますが、「排泄はトイレで」「褥瘡ゼロ」を目標として、私らしく皆様に発信していけたらと思います。

以上